



平成 24 年 12 月期 第 3 四半期決算短信（非連結）

平成 24 年 11 月 30 日

会 社 名 ザ・レジェンド・ホテルズ&トラスト株式会社
 コード番号 2189
 本社所在地 東京都渋谷区本町一丁目4番16号
 問い合わせ先 責任者役職名 取締役
 氏 名 告野 充

グリーンシート銘柄
 本社所在都道府県 東京都
 TEL (03)5365-3201

1. 平成 24 年 12 月期第 3 四半期の業績（平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

- （注）1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。
 2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

（1）経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	千円	%	千円	%	千円	%
24 年第 3 四半期	22,693	(9.7)	△19,908	(—)	△22,686	(—)
23 年第 3 四半期	20,681	(121.7)	△28,978	(—)	△31,315	(—)

	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総 資 産 経常利益率	売 上 高 経常利益率
	千円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
24 年第 3 四半期	△22,904 (—)	△21 07	— —	△6.9	△6.4	△100.0
23 年第 3 四半期	△31,533 (—)	△30 28	— —	△9.9	△8.8	△151.4

- （注）1. 期中平均株式数 24 年第 3 四半期 1,087,275 株 23 年第 3 四半期 1,041,294 株
 2. 会計処理の方法の変更 有 ・ 無
 3. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式は存在しますが、1 株当たり当期純損失を計上していることに加え、当社株式は非上場であり、期中平均株価の算定が困難なため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株 当 たり 純 資 産
	千円	千円	%	円 銭
24 年第 3 四半期	356,898	334,091	93.6	304 33
23 年第 3 四半期	363,205	328,772	90.5	309 37

- （注）期末発行済株式数 24 年第 3 四半期 1,097,800 株 23 年第 3 四半期 1,062,700 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
24年第3四半期	△24,124	△600	24,955	4,830
23年第3四半期	△36,526	△21,812	50,270	4,101

2. 平成24年12月期の業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

当社の主要事業は「ホテル開発・運営事業」であり、ホテル開発・運営をセットで行う「直営型ホテル」と、既存ホテル等の運営のみの受託を行う「運営型ホテル」の両方を並行して行っていく方針であります。

現時点においては、「直営型ホテル」の第1号として千葉県の子物件を予定しておりますが、建設及び営業はいたしておりません。ホテル建設に向けて、土地の売買契約の締結、ホテル建物の設計、地元・行政との調整に基づき、平成21年8月31日に都市計画法の開発許可を受け、平成22年3月9日に建築基準法の建築確認済証の交付を受け、平成23年度よりホテル建設代金を調達すべく本格的にホテル会員権販売を行ってまいりました。しかしながら、物件が千葉県の海沿いということで昨年の東日本大震災による地震と放射能への不安感により様子見に入られた方が多く、また当社のホテル運営経験が無いことを危惧されるお客様もおられた事等から当初計画よりも遅延しており、現在のところ着工予定は未定となっております。

一方で、「運営型ホテル」の第1号として平成24年4月2日付にて「タラサ志摩ホテル」（三重県）の運営をタラサ志摩スパアンドリゾート株式会社から受託し、「ザ・レジェンドホテル タラサ志摩」として平成24年7月7日にリニューアルオープンいたしました。この間、当社のホテルコンセプトに沿ってホテル施設の一部改装を実行するとともに、ホームページやリーフレットを一新する等、当社の掲げる理念をホテルとして具現化した初めてのケースとなりました。また、リニューアルオープン後の具体的なホテルオペレーションにつきましても、当社が目指す「ジェネラルマネージャーの自宅に招かれたような」寛ぎと癒しをお客様が体感できるよう、ジェネラルマネージャー及びアソシエイツジェネラルマネージャーを新たに選任し、従業員に対する教育と指導を始めとするホテル環境の整備に尽力して参りました。「ザ・レジェンドホテル タラサ志摩」にかかるタラサ志摩スパアンドリゾート株式会社との業務委託契約はホテル運営方針の相違により平成24年9月21日をもって終了いたしました。当社としましては今回のホテル運営受託に伴うリニューアルオープンの実績が、第2号以降の運営型ホテルの受託に生きるものと確信しております。

今後も、「直営型ホテル」（千葉県）の会員権販売を継続して行くとともに、第2号「運営型ホテル」の運営を受注し運営実績を上げホテル運営の基盤作りと信用力向上を図ることが、「直営型ホテル」の会員権販売の加速に繋がると考えております。

これらのホテルが軌道に乗り、継続的な事業として確立するまでは不確実性が存在するため、当社では業績予想の開示は行っておりません。

第 7 期 第 3 四半期報告書

(平成 24 年 7 月 1 日から平成 24 年 9 月 30 日まで)

会社名 (定款上の商号)	ザ・レジェンド・ホテルズ&トラスト株式会社
英 文 名	The Legend Hotels & Trust , inc.
コ ー ド 番 号	2189
代表者の役職氏名	代表取締役 嶋田 秀子
本店の所在の場所	東京都渋谷区本町一丁目 4 番 16 号
電 話 番 号	0 3 - 5 3 6 5 - 3 2 0 1
連 絡 者	取締役 告野 充

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位 :

千円)

科 目	期 別	第 7 期 第 1 四半期	第 7 期 第 2 四半期	第 7 期 第 3 四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成 24 年 1 月 1 日 至平成 24 年 3 月 31 日	自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 24 年 6 月 30 日	自平成 24 年 7 月 1 日 至平成 24 年 9 月 30 日	自平成 24 年 1 月 1 日 至平成 24 年 9 月 30 日	自平成 23 年 1 月 1 日 至平成 23 年 9 月 30 日
		金 額	金 額	金 額	金 額	金 額
I 売 上 高		8,870	8,735	5,087	22,693	20,681
II 売 上 原 価		2,481	2,694	578	5,755	4,643
売上総利益		6,388	6,040	4,508	16,938	16,038
III 販売費及び一般管理費		12,772	12,702	11,372	36,846	45,016
営業損失		6,383	6,661	6,863	19,908	28,978
IV 営業外収益		0	0	0	1	70
V 営業外費用		1,516	599	663	2,779	2,407
経常損失		7,899	7,260	7,526	22,686	31,315
税引前四半期(当期)純損失		7,899	7,260	7,526	22,686	31,315
法人税、住民税及び事業税		72	72	72	217	217
四半期(当期)純損失		7,971	7,333	7,599	22,904	31,533

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第 7 期 第 1 四半期	第 7 期 第 2 四半期	第 7 期 第 3 四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成 24 年 1 月 1 日 至平成 24 年 3 月 31 日	自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 24 年 6 月 30 日	自平成 24 年 7 月 1 日 至平成 24 年 9 月 30 日	自平成 24 年 1 月 1 日 至平成 24 年 9 月 30 日	自平成 23 年 1 月 1 日 至平成 23 年 9 月 30 日
期中平均株式数		1,075,732 株	1,089,034 株	1,096,952 株	1,087,275 株	1,041,294 株
1株当たり四半期(当期)純損失		7 円 41 銭	6 円 73 銭	6 円 93 銭	21 円 07 銭	30 円 28 銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益		—	—	—	—	—

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益につきましては、潜在株式は存在しますが、1 株当たり四半期(当期)純損失を計上していることに加え、当社株式は非上場であり、期中平均株価の算定が困難なため、記載しておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類	期 別	第7期 第1四半期	第7期 第2四半期	第7期 第3四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成24年1月1日 至平成24年3月31日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成24年1月1日 至平成24年9月30日	自平成23年1月1日 至平成23年9月30日
ホテル開発・運営事業		—	5,233	4,531	9,764	—
トラスト事業		—	—	—	—	—
コンサルティングサービス 事業		8,810	3,533	543	12,887	20,478
コンテンツサービス事業		60	△31	13	42	203
合 計		8,870	8,735	5,087	22,693	20,681

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	第 6 期末	第 7 期第 1 四半期	第 7 期第 2 四半期	第 7 期第 3 四半期
		平成23年12月31日現在	平成 24 年 3 月 31 日現在	平成 24 年 6 月 30 日現在	平成 24 年 9 月 30 日現在
		金 額	金 額	金 額	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金		4,599	3,492	8,419	4,830
2. 売掛金		182	102	2,894	178
3. 仕掛販売用不動産		163,907	164,443	164,348	164,348
4. 商品		688	683	677	672
5. 貯蔵品		2,560	2,530	2,514	2,487
6. 前払費用		251	251	251	251
7. 立替金		4,044	4,044	1,891	—
8. その他		300	413	178	565
流動資産合計		176,533	175,960	181,176	173,333
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 工具器具及び備品		92	84	77	69
(2) 建設仮勘定		167,343	167,343	167,343	167,343
有形固定資産合計		167,435	167,427	167,420	167,412
2. 無形固定資産					
(1) ソフトウェア		300	278	256	234
無形固定資産合計		300	278	256	234
3. 投資その他の資産					
(1) 関係会社出資金		200	200	200	200
(2) 敷金及び保証金		10,880	10,880	10,880	10,880
(3) 長期貸付金		—	—	600	600
(4) 長期立替金		—	—	4,044	4,044
(5) 長期前払費用		27	258	225	193
投資その他の資産合計		11,107	11,338	15,950	15,917
固定資産合計		178,843	179,044	183,627	183,565
資産合計		355,377	355,005	364,803	356,898

(単位：千円)

科 目	期 別	第 6 期 末	第 7 期 第 1 四 半 期	第 7 期 第 2 四 半 期	第 7 期 第 3 四 半 期
		平成23年12月31日現在	平成 24 年 3 月 31 日現在	平成 24 年 6 月 30 日現在	平成 24 年 9 月 30 日現在
		金 額	金 額	金 額	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 買掛金		—	220	880	611
2. 未払金		2,716	5,085	6,134	2,727
3. 未払費用		1,510	2,652	1,510	2,637
4. 未払法人税等		1,036	1,295	827	1,241
5. 前受金		20,353	13,289	15,465	14,860
6. 預り金		924	597	1,154	728
流動負債合計		26,541	23,140	25,972	22,806
負債合計		26,541	23,140	25,972	22,806
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金		375,990	381,490	388,640	390,070
2. 資本剰余金					
資本準備金		274,190	279,690	286,840	288,270
資本剰余金合計		274,190	279,690	286,840	288,270
3. 利益剰余金					
その他利益剰余金					
繰越利益剰余金		△321,343	△329,315	△336,648	△344,248
利益剰余金合計		△321,343	△329,315	△336,648	△344,248
株主資本合計		328,836	331,864	338,831	334,091
純資産合計		328,836	331,864	338,831	334,091
負債純資産合計		355,377	355,005	364,803	356,898

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第 6 期 末	第 7 期 第 1 四 半 期	第 7 期 第 2 四 半 期	第 7 期 第 3 四 半 期
		平成23年12月31日現在	平成 24 年 3 月 31 日現在	平成 24 年 6 月 30 日現在	平成 24 年 9 月 30 日現在
発 行 済 株 式 数		1,072,200 株	1,082,200 株	1,095,200 株	1,097,800 株
1 株 当 たり 純 資 産 額		306 円 69 銭	306 円 66 銭	309 円 38 銭	304 円 33 銭

(4) 株主資本等変動計算書

当事業年度（自 平成 24 年 1 月 1 日 至 平成 24 年 9 月 30 日）

(単位：千円)

項目	株主資本				純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金		
平成 24 年 1 月 1 日残高	375,990	274,190	△321,343	328,836	328,836
第 1 四半期中の変動額					
新株の発行	5,500	5,500	—	11,000	11,000
四半期純損失 (△)	—	—	△7,971	△7,971	△7,971
第 1 四半期中の変動額合計	5,500	5,500	△7,971	3,028	3,028
平成 24 年 3 月 31 日残高	381,490	279,690	△329,315	331,864	331,864
第 2 四半期中の変動額					
新株の発行	7,150	7,150	—	14,300	14,300
四半期純損失 (△)	—	—	△7,333	△7,333	△7,333
第 2 四半期中の変動額合計	7,150	7,150	△7,333	6,966	6,966
平成 24 年 6 月 30 日残高	388,640	286,840	△336,648	338,831	338,831
第 3 四半期中の変動額					
新株の発行	1,430	1,430	—	2,860	2,860
四半期純損失 (△)	—	—	△7,599	△7,599	△7,599
第 3 四半期中の変動額合計	1,430	1,430	△7,599	△4,739	△4,739
平成 24 年 9 月 30 日残高	390,070	288,270	△344,248	334,091	334,091

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「有価証券報告書 第 5 経理の状況 重要な会計方針」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間発生見積額の 4 分の 1 に該当する金額を計上しております。
2. 法人税、住民税及び事業税の計上基準 法人税、住民税及び事業税は、年間の見積り法人税等の 4 分の 1 に相当する金額を計上しております。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

Ⅱ 第7期第3四半期の業績の概況（平成24年7月1日から平成24年9月30日）

当第3四半期におけるわが国経済は、世界景気の減速等を背景として、回復の動きに足踏みがみられます。先行きについては、当面は弱めの動きも見込まれるものの、復興需要が引き続き発現するなかで、海外経済の状況が改善するにつれ、再び景気回復へ向かうことが期待されます。ただし、欧州政府債務危機を巡る不確実性が依然として高いなかで、世界景気のさらなる下振れや金融資本市場の変動が、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、収益や所得の動向、デフレの影響等にも注意が必要であります。

ホテル業界におきましては、伸び悩んでおりました国内宿泊需要並びに外国人宿泊需要も底を打ち、持ち直してきております。

このような状況のもと、当社は第1号「直営型ホテル」（千葉県）の建設に向けて、ホテル建設代金を調達すべくホテル会員権販売を行ってまいりました。しかしながら、物件が千葉県の海沿いということで昨年の東日本大震災による地震と放射能への不安感により様子見に入られた方が多く、また当社のホテル運営経験が無いことを危惧されるお客様もおられた事等から当初計画よりも遅延しており、現在のところ着工予定は未定となっております。

併せまして、「運営型ホテル」の第1号として、タラサ志摩スパアンドリゾート株式会社から運営受託しております「タラサ志摩ホテル」（三重県）を「ザ・レジェンドホテル タラサ志摩」として平成24年7月7日にリニューアルオープンいたしました。リニューアルオープン後のホテルオペレーションにつきましては、ジェネラルマネージャー及びアソシエイツジェネラルマネージャーのもと、従業員に対する教育と指導を始めとするホテル環境の整備に尽力して参りました。しかしながら、「ザ・レジェンドホテル タラサ志摩」にかかる業務委託契約はホテル運営方針の相違により平成24年9月21日をもって終了いたしました。

資金面では公募増資を1回実施して資金調達を行ってまいりました。

一方で、当社の広告宣伝及びイメージアップの一環として講演活動、マスコミ対応等を全国レベルで行ってまいりました。

また、お客様の消費活動が自動的にチャリティに繋がる仕組みを持った「W購入商品」（Wノート等）の商品販売も行っていました。

加えて、レジェンドホテル内で行われるチャリティ活動（100個の壺）の受け皿として、またチャリティ文化を促進し国民生活の向上と人類社会の繁栄に貢献することを目的に、平成23年3月に設立された「レジェンド一般財団法人」への支援もいたしてまいりました。

以上の結果、当第3四半期の業績は、売上高5,087千円（前年同期比4.3%減）、営業損失6,863千円（前年同期は11,666千円の営業損失）、経常損失7,526千円（前年同期は12,385千円の経常損失）、四半期純損失7,599千円（前年同期は12,458千円の四半期純損失）となりました。

Ⅲ 第7期通期の売上高及び利益の予測について

当社の主要事業は「ホテル開発・運営事業」であり、ホテル開発・運営をセットで行う「直営型ホテル」と、既存ホテル等の運営のみの受託を行う「運営型ホテル」の両方を並行して行っていく方針であります。

現時点においては、「直営型ホテル」の第1号として千葉県のパイオニアホテルを予定しておりますが、建設及び営業はいたしておりません。ホテル建設に向けて、土地の売買契約の締結、ホテル建物の設計、地元・行政との調整に基づき、平成21年8月31日に都市計画法の開発許可を受け、平成22年3月9日に建築基準法の建築確認済証の交付を受け、平成23年度よりホテル建設代金を調達すべく本格的にホテル会員権販売を行ってまいりました。しかしながら、物件が千葉県の海沿いということで昨年の東日本大震災による地震と放射能への不安感により様子見に入られた方が多く、また当社のホテル運営経験が無いことを危惧されるお客様もおられた事等から当初計画よりも遅延しており、現在のところ着工予定は未定となっております。

一方で、「運営型ホテル」の第1号として平成24年4月2日付にて「タラサ志摩ホテル」（三重県）の運営をタラサ志摩スパアンドリゾート株式会社から受託し、「ザ・レジェンドホテル タラサ志摩」として平成24年7月7日にリニューアルオープンいたしました。この間、当社のホテルコンセプトに沿ってホテル施設の一部改装を実行するとともに、ホームページやリーフレットを一新する等、当社の掲げる理念をホテルとして具現化した初めてのケースとなりました。また、リニューアルオープン後の具体的なホテルオペレーションにつきましても、当社が目指す「ジェネラルマネージャーの自宅に招かれたような」寛ぎと癒しをお客様が体感できるよう、ジェネラルマネージャー及びアソシエイツジェネラルマネージャーを新たに選任し、従業員に対する教育と指導を始めとするホテル環境の整備に尽力して参りました。「ザ・レジェンドホテル タラサ志摩」にかかるタラサ志摩スパアンドリゾート株式会社との業務委託契約はホテル運営方針の相違により平成24年9月21日をもって終了いたしました。当社としましては今回のホテル運営受託に伴うリニューアルオープンの実績が、第2号以降の運営型ホテルの受託に生きるものと確信しております。

今後も、「直営型ホテル」（千葉県）の会員権販売を継続して行うとともに、第2号「運営型ホテル」の運営を受注し運営実績を上げホテル運営の基盤作りと信用力向上を図ることが、「直営型ホテル」の会員権販売の加速に繋がると考えております。

これらのホテルが軌道に乗り、継続的な事業として確立するまでは不確実性が存在するため、当社では業績予想の開示は行っておりません。

Ⅳ 資金及び借入金状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第7期第1四半期	第7期第2四半期	第7期第3四半期
		自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
現金及び預金の増減額		△1,107	4,926	△3,588
現金及び預金の四半期首残高		4,599	3,492	8,419
現金及び預金の四半期末残高		3,492	8,419	4,830

(主な増減理由)

第3四半期の現金及び預金の主な増減理由は、税引前四半期純損失の計上による減少7,526千円、売掛金の減少額2,716千円、立替金の減少額1,891千円、未払金の減少額3,407千円及び公募増資に伴う新株式発行による増加2,860千円等であります。

V その他

1. 資金調達の状況

(1) 募集による新株式の発行

平成24年1月6日開催の当社取締役会において決議されました、平成24年1月31日を払込期日とする新株式（普通株式）の発行に関して、下記の通り払込みが完了いたしました。

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| ① 発行新株式数 | 普通株式4,300株 |
| ② 払込金額 | 1株につき普通株式 金1,100円 |
| ③ 払込期日 | 平成24年1月31日（火） |
| ④ 資本増加日 | 平成24年1月31日（火） |
| ⑤ 調達資金額 | 4,730,000円 |
| ⑥ 調達資金の使途 | 第1号ホテルの建築施工に向けた準備金の支払等に充当いたしました。 |

(2) 募集による新株式の発行

平成24年2月3日開催の当社取締役会において決議されました、平成24年2月29日を払込期日とする新株式（普通株式）の発行に関して、下記の通り払込みが完了いたしました。

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| ① 発行新株式数 | 普通株式1,300株 |
| ② 払込金額 | 1株につき普通株式 金1,100円 |
| ③ 払込期日 | 平成24年2月29日（水） |
| ④ 資本増加日 | 平成24年2月29日（水） |
| ⑤ 調達資金額 | 1,430,000円 |
| ⑥ 調達資金の使途 | 第1号ホテルの建築施工に向けた準備金の支払等に充当いたしました。 |

(3) 募集による新株式の発行

平成24年3月2日開催の当社取締役会において決議されました、平成24年3月28日を払込期日とする新株式（普通株式）の発行に関して、下記の通り払込みが完了いたしました。

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| ① 発行新株式数 | 普通株式4,400株 |
| ② 払込金額 | 1株につき普通株式 金1,100円 |
| ③ 払込期日 | 平成24年3月28日（水） |
| ④ 資本増加日 | 平成24年3月28日（水） |
| ⑤ 調達資金額 | 4,840,000円 |
| ⑥ 調達資金の使途 | 第1号ホテルの建築施工に向けた準備金の支払等に充当いたしました。 |

(4) 募集による新株式の発行

平成24年4月2日開催の当社取締役会において決議されました、平成24年4月27日を払込期日とする新株式（普通株式）の発行に関して、下記の通り払込みが完了いたしました。

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| ① 発行新株式数 | 普通株式8,400株 |
| ② 払込金額 | 1株につき普通株式 金1,100円 |
| ③ 払込期日 | 平成24年4月27日（金） |
| ④ 資本増加日 | 平成24年4月27日（金） |
| ⑤ 調達資金額 | 9,240,000円 |
| ⑥ 調達資金の使途 | 第1号ホテルの建築施工に向けた準備金の支払等に充当いたしました。 |

(5) 募集による新株式の発行

平成24年5月2日開催の当社取締役会において決議されました、平成24年5月31日を払込期日とする新株式（普通株式）の発行に関して、下記の通り払込みが完了いたしました。

- | | |
|-----------|--|
| ① 発行新株式数 | 普通株式2,300株 |
| ② 払込金額 | 1株につき普通株式 金1,100円 |
| ③ 払込期日 | 平成24年5月31日（木） |
| ④ 資本増加日 | 平成24年5月31日（木） |
| ⑤ 調達資金額 | 2,530,000円 |
| ⑥ 調達資金の使途 | 千葉県に予定をしております「第1号直営型ホテル」（平成22年3月9日に建築基準法に基づく建築許可取得）の開業に向けての「ホテル土地」の購入代金（土地購入金額242,000千円、土地購入金額の支払済額174,000千円、土地購入金額の残額68,000千円）や、「ホテル会員権販売」のための販促・広告費や、「ホテル事業」（第1号直営型ホテル、及び第1号運営型ホテル）を推進していくための会社全体の運営資金の支払いに充当いたしました。 |

(6) 募集による新株式の発行

平成24年6月4日開催の当社取締役会において決議されました、平成24年6月29日を払込期日とする新株式（普通株式）の発行に関して、下記の通り払込みが完了いたしました。

- | | |
|-----------|--|
| ① 発行新株式数 | 普通株式2,300株 |
| ② 払込金額 | 1株につき普通株式 金1,100円 |
| ③ 払込期日 | 平成24年6月29日（金） |
| ④ 資本増加日 | 平成24年6月29日（金） |
| ⑤ 調達資金額 | 2,530,000円 |
| ⑥ 調達資金の使途 | 千葉県に予定をしております「第1号直営型ホテル」（平成22年3月9日に建築基準法に基づく建築許可取得）の開業に向けての「ホテル土地」の購入代金（土地購入金額242,000千円、土地購入金額の支払済額174,000千円、土地購入金額の残額68,000千円）や、「ホテル会員権販売」のための販促・広告費や、「ホテル事業」（第1号直営型ホテル、及び第1号運営型ホテル）を推進していくための会社全体の運営資金の支払いに充当いたしました。 |

(7) 募集による新株式の発行

平成24年7月3日開催の当社取締役会において決議されました、平成24年7月31日を払込期日とする新株式（普通株式）の発行に関して、下記の通り払込みが完了いたしました。

- | | |
|-----------|--|
| ① 発行新株式数 | 普通株式2,600株 |
| ② 払込金額 | 1株につき普通株式 金1,100円 |
| ③ 払込期日 | 平成24年7月31日（火） |
| ④ 資本増加日 | 平成24年7月31日（火） |
| ⑤ 調達資金額 | 2,860,000円 |
| ⑥ 調達資金の使途 | 千葉県に予定をしております「第1号直営型ホテル」（平成22年3月9日に建築基準法に基づく建築許可取得）の開業に向けての「ホテル土地」の購入代金（土地購入金額242,000千円、土地購入金額の支払済額174,000千円、土地購入金額の残額68,000千円）や、「ホテル会員権販売」のための販促・広告費や、「ホテル事業」（第1号直営型ホテル）の推進を含む会社全体の運営資金の支払いに充当いたしました。 |

2. 調達資金の充当状況

(単位：千円)

項目	調達額	充当金額				土地残金
		ホテル土地の購入 関連代金	ホテル開 発・設計 関連代金	販促・ 広告費	会社全体 の運営 資金	
第4期 (平成21年3月～平成21年12月)	190,700	(45,193)	47,830	17,801	79,874	109,000
第5期 (平成22年1月～平成22年12月)	95,560	18,000	39,367	22,536	15,655	91,000
第6期 (平成23年1月～平成23年12月)	60,720	23,000	8,995	20,521	8,202	68,000
第7期 第1四半期 (平成24年1月～平成24年3月)	11,000	—	266	2,926	7,807	68,000
第7期 第2四半期 (平成24年4月～平成24年6月)	14,300	—	931	2,558	10,810	(60,000)
第7期 第3四半期 (平成24年7月～平成24年9月)	2,860	—	532	2,074	254	60,000
合計	375,140	86,193	97,922	68,418	122,605	60,000

(注1) ホテル土地の購入関連代金の()内は、土地の購入代金に加え、遅延損害金の支払い分を含めたものであります。

(注2) 土地残金の()内は、平成24年6月30日に土地建物売買代金の変更(減額)を目的とした覚書を締結したことによるものであります。